



みなと

みなと 65号 2022年6月1日
兵庫県声の図書赤十字奉仕団
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5
日本赤十字社兵庫県支部内
(Tel) 078-241-9889 (Fax) 078-241-6990
代表者 足利教治
編集者 土岐淑子

委員長就任4年目を迎えて

委員長 足利教治

2022年度の総会もコロナ禍の中で3年ぶりに対面形式で開催、参加人数を制限しての開催でしたが、議案についても承認いただき新体制での声奉の活動もスタートすることが出来ました。団員の皆様には今年度も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

① 声奉の活動する方向について

声奉活動も、コロナ禍でルームでの活動を制限され「声のアルバム」の発行も、2022年度は年2回の発行、2021年度は隔月発行等で年5回の発行となり、2022年度も9月号迄は隔月発行が決まっています。

団員数も2015年度の130名から2022年度の107名と減少傾向にあります。また、正確なデータはありませんが年齢構成も高齢化が進んでいるように思います。

こう言った状況を踏まえ、長期的展望に立って声奉としての活動の方向を考える時期が来ているのでは無いかと考えます。声奉活動のメインの「声のアルバム」の発行形式、構成プログラムの内容検討他、より良い方向を皆さんと相談しながら考えて行きたいと思えます。

② IT関連の活用について

2019年委員長に就任に伴い、情報を共有しての活動を進めたいという観点から、個人対個人の情報交換でなくメンバー全員が同じ情報を共有し手軽に活動を進めるため、役員ML（メーリングリスト）を皮切りに運営委員MLを結成し活用を始めました。

明けて2020年3月日本で新型コロナ発症し緊急事態宣言が発令されました。ルームでの活動も全面休止となり、声奉の総会も開けない状態になりました。急遽インターネットとメールを活用した「ネット総会」という形に変更し実施しました。

緊急事態宣言が解除されたあとも3密を避けるため、ルームでの作業人数を制限しての活動を余儀無くされ、管理する手段としてメールでの予約制を採用、ホームページでルームの予約状況を確認できるようにしました。その後声奉の情報をリンク集として掲載。約15の項目を掲載するまでに発展しています。今後も皆さんにとって必要と思われる情報を掲載し、声奉の情報源となるよう発展させたいと思えます。

③ 作業班について

2019年委員長に就任してから3年が経過し4年目に突入しました。何もわからない状態で出発でしたがその時々周囲の皆様に支えて頂きここまでたどり着くことが出来ました。就任中に気づいたことの一つに「各作業班の働き」の必要性です。グループ内で録音だけしていた時にはわからなかったのですが、声奉には「点字班、デイジー班、単行図書検討会、朗読・音訳を見直す会」の他、作業班には登録されていませんが、「単行図書発受」等の作業があります。録音された図書がリスナーに届き返却されるまでに必要不可欠の作業であり、各グループからの積極的な参加が必要と認識しました。

後になりましたが、今年度もコロナ禍が続きます。団員の皆様には油断することなく、感染予防に留意して活動頂くようお願い致します。私自身も遠くに見えかけたゴールにたどり着けるよう頑張りたいと思いますので、重ねてのご協力をお願いいたします。

2022年度本部役員

委員長	足利教治	(はあもにい)	再任
副委員長	中原昌代	(ことばの花束)	再任
副委員長	松永和子	(そよかぜ)	新任
会計	前川芳子	(ともしび)	新任
会計監査	与茂田恭子	(こすもす)	再任
書記	土岐淑子	(神戸YWCA)	新任





前本部役員のひとつこと

今も重症化や亡くなる人がおさまらないコロナウイルス。
子供たちや知人親族の入院、感染が続く。
支部の行事も中止や zoom という文字が並び。
メールからは目が離せない日々でした。
全ての行動に権利義務ではない自己責任という言葉がついてくる。
与えられた環境の中で信頼関係だけを頼りにボランティア活動を続けられた事。
ご褒美は人生の大きな教訓とおかげ様という感謝の気持ちです。

前副会長 大下操 (青年)

コロナ禍での活動開始となり、PC メール of 校正、訂正、確認の日々でしたが、足利委員長の下、皆様のご協力のおかげで2年間無事務めることができました。ありがとうございました。
緊急事態宣言の影響で運営委員会、役員会がメール形式になり、領収書をお預かりしても長い間お支払いができず確認のメールをいただくなどご心配をおかけし申し訳ございませんでした。
これからは、「かざぐるま」の制作、デイジー発送を皆さんと一緒に頑張りたいと思いますのでよろしく願いいたします。

前会計 新田真理子 (そよ風)

皆さまのおかげで、書記の任務を無事終えることができました。
所属グループ外の多くの方々と接する機会に恵まれたことに感謝しています。
2年前の「みなと」に、就任挨拶として「無理をせず、誰でもなれる本部役員を目指して(?) 楽しく頑張りたい。」と書きましたが、達成できたと思います。
楽しい2年間でした。ありがとうございました。

前書記 高橋晶子 (神戸 YWCA)

新本部役員のひとつこと



副委員長 松永和子（そよかぜ）

本部役員の副委員長をさせて頂く事になりました松永和子です。

少しでも役に立てればという気持ちだけは、沢山持って居りますが、空回りにならないように気をつけねばと思っております。

先日、所属する事になりました点字班の例会に参加させていただきましたが、学ぶことがいっぱいありすぎて頭から溢れた状態で帰ってきました。

声奉は点字図書館ですので、点字を読めるようになりたいと思っておりますが、大変です。

会計 前川芳子（ともしび）

この度、会計をさせていただきます。

2022年度は、新型コロナウイルスによる声の図書赤十字奉仕団の活動制限が緩むのではないかと期待を持って始まりますようお願いいたします。

私自身は、2年に及ぶ活動自粛の後で足元が追いつくのか少し心配もありますが、他の本部役員の皆さまと連携しながら役目を果たして行けたら、と思っております。

団員の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

書記 土岐淑子（神戸YWCA）

初めての本部役員、初めての書記、戸惑うことばかりです。

力不足ですが、皆さまのお力添えをお願いし、団員の皆様に、正確な情報をお届けすることを第一につとめさせていただきます。

デイジー班



デイジー発送作業について

私が初めて作業に参加させていただいたのは、入団1ヶ月後でデイジーという言葉も聞いたことがありませんでした。あれから十数年、そよかぜグループの平郡さんはじめグループを超えて色々な方々にご指導いただき今日に至っています。

2022年3月で平郡さんが退団され、4月から私がそよかぜグループのデイジー担当となった途端、発送チームの原稿の順番が回ってきて戸惑っています。

デイジーの発送作業は、毎月（過去2年は、変則）第2月曜日にことばの花束G・ともしびG・そよかぜGが担当しています。

内容は、「日赤声のアルバム」のマザーCDからコピー機でサブマザーCD3枚を作成、プレクストーク・PCでモニターチェックを行った後、必要枚数CDを作成します。

CDの裏面に傷がないか確認しながら、不織布で拭きます。CDケースに破損があれば新しいものに交換し、「〇月号」紙の点字ラベルを真ん中に貼ります。

利用者名簿に〇月号と発送日を記入して宛名カードと利用者名簿の数が合うよう発送枚数分準備します。（未返却の方の宛名カードも準備）

宛名カードを郵袋に入れておき、CDケースを除菌シートで拭き宛名カードとCDケースの向きを確認して郵袋に入れ発送します。

以上のような流れで作業を行っています。

「日赤声のアルバム」の発送枚数は、約180枚（2022/3/14 現在）です。コロナ禍での作業は、3密を避けるため人数を減らし行っています。

これからもリスナーさんの励ましのお言葉に元気をいただき、リスナーさんに楽しんで頂けるデイジー図書を作っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

新田真理子（そよかぜ）



点字班



5月の点字班例会で声の図書赤十字奉仕団が点字図書館として存在している経緯をお聞きしました。著作権というものを前にした半世紀以上前の奉仕団の姿を垣間見たようで歴史ある点字班の投稿を軽はずみに受けてしまい恐縮しております。

昨年11月に、唯一行われた明石王子小学校の学校講習の様子を紹介させていただきます。

点字講習もガイドヘルプも、コロナ感染防止対策を取って工夫をされた上での学校講習で団員の皆様は再び子供たちにお話できると言う期待感がありそれは私にも伝わってきました。

私がいたのはガイドヘルプの講習で講師の田邊依子さんと賛助団員の折野八千代さんが小学生の日常の経験をもとにして視覚障がい者の生活についてお話をされました。講話の後、いろいろな質問が活発に出て子供たちは集中していました。

ある一人の男子生徒がスッと手を挙げて立ち上がり

「視覚障がい者同士の結婚で、生まれてくる子供は視覚障がい者ですか？」という質問をしました。

男子生徒の視線は前方の講師と折野八千代さんに向けられていました。

私はその率直な質問をする少年をとて微笑ましく感じていました。

一瞬、教室内はシーンと静まり緊張した空気になりました。

折野さんはマスク越しでも張りのある落ち着いたお声で、様々な事例をあげて小学生に分かりやすく明確な説明をされました。

更にバリアフリーの社会とは？街中のユニバーサルデザインについて等、

折野さんは生徒たちに広く社会に目を向けて話をされたのです。

福祉教育の大切な意義を学ばせていただいた貴重な時間でした。

それから半年ほどして私は現役時代の職場の同僚にばったり出会い、障がい者にとって最悪の悲しい話を聞かされたのです。

訓練生として市町村の事業所で清掃作業に従事して自立を目指していた妹さんが、指導員とのコミュニケーションがとれず心身の健康を崩し体力の低下から亡くなってしまったのです。姉として母として守ることができなかった深い悲しみ。

なぜ、誰もくい止めることができなかつたのか、、、どんな言葉も慰めでしかない。やり場のない憤りとこの日の生徒たちのまっすぐな姿を思い出し、また涙が止まりませんでした。

地球の長い歴史の中で生命あるものとして続いている人間の命の重なり。まだ幼い子どもの心に蒔かれた命の種は、季節の中で芽を出し成長へと導かれる。先人の祈りと知恵に育まれ耕されながら、こころのバリアフリーの花が開く事を信じています。

大下 操（青年）

朗読・音訳を見直す会



兵庫県声の図書赤十字奉仕団（及び、神戸 YWCA 声の奉仕グループ）に加入し活動を始めて、やっと7年目に入ったばかりの未熟な私は、大先輩・片山恵さんにアドバイスをいただきながら、この「朗読・音訳を見直す会」に参加させていただこうと思っていたところ、図らずも交代ということになり、いまだ右往左往しております。

声の奉仕団に入団当初は、読んで、録音し、提出期限に間に合わせることをだけを必死に考えていました。

少しずつ経験を積んでいくうちに、どう読んだらいいの？音訳とはこれでいいの？と悩み、読めなくなった時期がありました。

私が初めて“音訳”活動を知ったのは、16年前東京で勤めていた会社での社会貢献活動の研修の一つに「日本ライトハウスセンターの音訳勉強会」があり、参加したことでした。

多数の講師の方が来てくださり、日本ライトハウスセンターの活動内容の説明を受けた後何組かに分かれて実際にリスナーからの依頼文書をパソコンで録音しました。そこで言われたことは

“関西出身の方は、アクセントやイントネーションが強くて・・・”と。

東京での活動は叶いませんでした。

定年退職後、神戸に戻って、神戸市社会福祉協議会主催市民福祉大学の「朗読ボランティア基礎講座」を受講し、3年ほど“読んで聞いていただく”というボランティアを経験した後、声奉に入団したのですが、やはり東京で言われたことが強く印象に残っていて、「正確なアクセントで」、「活舌よく」、「雑音が残らないように」と言ったことばかりを気にしたぎくしゃくした読みになってしまっていました。

自分でも・・・聞きづらい、これでは音訳になっていない・・・などと思い、読めなくなってしまうのです。

そんな時、以前の「みなと」の「朗読・音訳を見直す会」の記事に

- ・誰に伝えているのかを意識する（聞き手に寄り添う気持ち）
- ・朗読・音訳をすること自体に喜びを感じるものが何より大切

とあるのが目に入り、ボランティアを始めたころの気持ちを思い返し、背中を押していただいたように感じ、今また読んで、録音することに再挑戦中です。

2022年度は「録音図書制作マニュアル第4版」の発行を検討することになっており、勉強させていただきながら、少しでもお役に立てるよう、そしてリスナーに楽しんでいただけるような録音ができるよう、私自身も楽しみながら活動を続けてゆきたいと思っております。

土岐淑子（神戸 YWCA）

単行図書検討会



2021年度 単行図書貸出ランキング表

2021年4月1日～2022年3月31日

順位	書名	著者名	貸出開始日	回数
1	流浪の月	凧良 ゆう	2020.01.21	18
2	亥子ころころ	西條 奈加	2021.01.21	15
3	一日10分のしあわせ	朝井リョウ 他7名	2020.10.22	12
"	一日10分のごほうび	赤川次郎 他7名	2020.11.26	12
"	老～い、どん！あなたにも「ヨタヘ口期」がやってくる	樋口 恵子	2021.08.19	12
"	人質の朗読会	小川 洋子	2021.07.22	12
7	旅のつばくろ	沢木 耕太郎	2020.10.29	11
"	虫とゴリラ	養老孟司 山極寿一	2012.07.15	11
9	季節風 夏	重松 清	2020.08.27	10
"	花のあと	藤沢 周平	2019.04.25	10
"	八月の銀の雪	伊与原 新	2021.11.04	10
"	姫路城100ものがたり	中元 隆迪	2015.04.30	10
"	ライオンのおやつ	小川 糸	2021.11.04	10
14	しあわせになる100か条	江原 啓之	2021.08.19	9
"	わたしの美しい庭	凧良 ゆう	2021.08.26	9
16	赤朽葉家の伝説、あずかりやさん、あずかりやさん 桐島くんの青春、告白、終電の神様 少年と犬、楽しく生きる、終の住処、月島慕情、平場の月、福袋、以上11冊			7

新刊図書 17冊 延べ貸出冊数 697冊(昨年度 680冊)

今年度も順調に貸出数が増加しました。また、新刊図書も昨年度21冊、今年度17冊と増加しています。しかし、リスナーの中には年間40冊以上も貸し出しを受けている人もおり、その要望に応えるにはさらに多くの新しい録音図書が必要となります。単図会では、推薦図書を選定し録音者を募り録音図書の増加に努めています。録音図書を1冊完成するためには長い時間を必要とします。1冊でも多く録音図書を完成させるため、団員の皆様のご協力をお願いします。

松永照子（ことばの花束）

I T 班

日赤声奉リンク集

発行者 声奉：丁蘭道 足利 教治
●New

- ★ルーム&ブース予約表(予約キャンセルは連絡ください) ●予約申し込みリンク
- ★発行通信2304
- ★声のアルバム5月号
- ★PIIP編集&花時計 当番予定表
- 花時計編集記録 ●花時計編集記録報告用紙
- ★声のアルバムプログラム各月予定表
- 総会議事録2022
- ★デジター作業日スケジュール
- ★2022年度役員・運営委員会日程
- ★2021年度リスナー名簿管理担当表
- ◎議事録2021年度
- ★第1回6月 ★第2回8月 ★第3回10月 ★第4回12月 ★第5回2月 ★第6回4月

I T班始動

デジター班の機材チームと、I T関連を統合し、声奉の作業グループの一つとして「I T班」を発足しました。声奉専属でレンタルサーバーを契約し、余裕をもってI T関連の作業が出来るようになりました。現在フル活用をしているのは、リンク集「ルーム&ブースの予約表」の管理です。

コロナ禍…感染対策をしながらも、活動を可能にするため。作業調整に有効な手段になりました。今後も継続していきます。また、試聴用「声のアルバム」をUP！PCやスマホで聴くことが出来るようになったので、ぜひお試しください。その他、運営委員会議事録・作業予定等の資料をUPしています。

URL からリンク集に入りいろんなページを探検してみてください。



「<http://koehou.hiho.jp/0000rinkusyuu.htm>」

I T班が立ちあがるまで、個人で運用してきましたが、今後はI T班で管理体制を整え、有益な内容に発展させていきたいと思っております。団員の皆様のご提案をお待ちしています。

また、PC及びその他機器の管理、録音ブースの機器の整備についても、各グループ・それぞれの作業で、使う人達が管理する気持ちで携われるよう、長期的視野に立って組織づくりをするべきと考えます。団員の皆様のご協力をお願いします。一緒に作業をして頂ける方を募集していますのでよろしくお願いします。

足利 教治 (はあもにい)

2年間の書記の任務を終え、今回I T班に加わりました。これまで人任せにしていたPCの管理、I Tの知識を少しでも身につけたいというのが加入の理由です。しばらくは皆さんの足を引っ張ることになるかと思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導よろしくお願いします。

高橋晶子 (神戸YWCA)

これまでデジター班の機材チームでPCの経験を少しでも高めようと頑張ってきました。I T班では、これまで経験したことの無い分野に踏み出すこととなります。あまり身体を使うのは苦しいですが、老骨に鞭打って頑張ります。

富沢ナオキ (ことばの花束)

コロナ禍…ネットの環境整備、ペーパーレス化を推進して下さった足利さん、機材管理を一極集中で受けて下さった富沢さんのお話を聴きながら、連絡係でも…なんてつもりで、I T班にはまったくの力不足なのに、参加してしまいました。

「議事録」「みなと」「作業班からのお知らせ」ゆくゆくは「録音マニュアル」も…リンク集にて、必要な資料をGetできる時が見えてきたように思います。みんなが見られるリンク集へ、UP資料のご提案をお願いいたします。

神坂順子 (こすもす)

プログラム紹介 「明日の友」

(はあもにい)

神戸市消防局監収「雪」を2005年から2020年8月までの15年間お届けしてきましたが、「雪」廃刊に伴い、新しく「明日の友」をお届けすることになりました。

はあもにいは2020年秋号からスタートしました。

冬号(12月1月)、早春号(2月3月)、春号(4月5月)、初夏号(6月7月)、夏号(8月9月)、秋号(10月11月)と年6回、偶数月の発刊です。

「明日の友」はすべての人の明日の幸せをねがって、

みなで育てる雑誌です

明日の幸せは

今日をよく生きることから

はじまります

身も心もすこやかに

年齢に^{いのち}生命の輝きを加えつつ

美しい人生を实らせましょう

というコンセプトで創られた明日の友、人生の滋味を語り合う対談やエッセイ、心や身体の健康、老後資金、身近な問題、そして老いとの共生を愉しく過ごす方法等を60代～白寿の方まで幅広いシニアの方々に支持される内容を取りあげています。

毎号ピックアップされる特集を中心に、豊かな生活をおくれるようお役に立てる番組作りを心がけています。

歌壇・俳壇では、特に90代の方々のみずみずしくのびやかな発想、そして視点の高さには感服します。

コロナ禍で休刊等ありましたが、

for tomorrow (明日へ)

共に輝く人生を重ねる為に・・・

毎回楽しみにしていただけるよう作成いたします。

石田展子(はあもにい)



リスナーだより

香山さん 2022.1.27

声のアルバム1月号感想

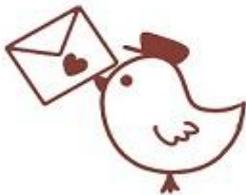
○父のこと母のこと 松下幸之助さんのこと。
みなさんいろいろな試練のあとにつかんだ
幸せ、大変勉強になります。
「声のアルバム」これからも聞かせてくだ
さい。

○「声のアルバム」この度大変今日に深く聞き
ました。
シジュウカラ、ヤマガラなどのゲンゴの
お話、大変興味があります。
唱歌に「ヤマガラの歌」ありますよ。
ダークダックスが歌っています。

コロナの中、大変面白いお話、ありがとうございます。
みなさまがこのコロナの中、健康を守られます
ように。

牧野マリエさん 2022.4.12

やまなみのご当地食の島根の板昆布は山陰名物
でも売られています。
島根産は、塩辛いです。



リスナーからのお便り もっと届いていますが、ボランティア
ルームのホワイトボードに掲示しますので、ご覧ください。